

国際関係における戦略的島嶼： 年月を通じて変化するその様相

はじめに

- 1 いかにして島嶼は戦略的となるのか
 - 2 時代を通じた戦略的島嶼
 - 3 未来に向けて：21世紀における戦略的島嶼
- おわりに



ケント・E・カルダー
(ジョンズ・ホプキンス大学
SAIS ライシャワー東アジア研究所長)

はじめに

ニコラス・スパイクマンはかつて、「地理は外交政策において最も根本的な要因である。なぜなら、それは最も恒久的なものであるからだ」と指摘した¹。結局のところ、陸と海の配置は持続的であり、世界情勢に対してより広範な含意を有している。明らかに、地理はより集中的に研究される必要があり、また世界中の多くの有力な国際関係大学院のカリキュラムにおいて顕著に欠落している。結局のところ、世界は、トーマス・フリードマンが多くの国際問題上重要な政策分野に関して挑発的に示唆したように、決して「平坦」ではない²。エネルギー、インフラ、そして国家安全保障のほとんどの側面は、その明白な例である。

国際問題における島嶼の役割は、地理研究の諸主題の中でも明らかに特別な優先性を与えられるに値する。グリーンランド、ニューギニア、オーストラリア（後者はそれ自体、一般に1つの大陸と見なされている）といったいくつかの例外を除けば、水に囲まれた陸地は領土面積の点で小さい

1 Nicholas J. Spykman, *The Geography of the Peace*. (New York: Harcourt Brace, 1944), 41.

2 フリードマンの挑発的な議論については、多くの通信および接続性関連の政策分野に関してはきわめて妥当性を有するものの、エネルギーやインフラのような地理に根ざした部門には必ずしも当てはまらないが、Thomas L. Friedman, *The Lexus and the Olive Tree: Understanding Globalization*. New York: Farrar, Strauss, and Giroux, 1999 を参照のこと。

傾向にある。多くは人口が限られており、軍事能力も限定的であり、また世界政治経済の周縁に位置している。ごく最近まで、島嶼は、一般的な国際関係文献において驚くほどほとんど注目を集めてこなかった。同文献は、米国や中国のような大規模で強力かつ中心的に位置する国家の盛衰に焦点を当てる傾向がある。

確かに、多くの島嶼は現在においても国際問題において決定的な重要性を欠いている。しかしながら、本稿で論じるように、歴史を通じてしばしば、名目的な経済規模や人口規模に比して国際舞台において過大な重要性を享受してきた島嶼が存在してきた。われわれはこれを「戦略的」な島嶼と呼ぶ。重要なことに、グリーンランド、キューバ、そして南太平洋のさまざまな島嶼をめぐる最近の論争が示唆するように、そのような戦略的島嶼の数および重要性の双方は、21世紀において急速に増大しているように見受けられる。

1 いかにして島嶼は戦略的となるのか

時代を通じて、一般的にもまた特定の歴史的文脈においても、国際問題に対する島嶼の重要性は、常にそれらの島嶼が国家に対して有してきた独自の機能的意義に依存してきた。言うまでもなく、人間は、海そのものの上や内部に容易に居住することはできない。また、海は、海洋戦略に関するその古典的分析においてコーベットが強調したように、所有の対象とはなりえない³。したがって、陸上に位置する明確に画定可能な領域であり、具体的な法的地位を有する島嶼は、海洋の中における国家に帰属する前哨拠点として、自然かつ不可欠な役割を担う。島嶼の位置は、海そのもののより広範な重要性から、また海洋法規定の下での領海および排他的経済水域の漸進的拡大から、機能的意義を獲得するのである⁴。

3 Julian Stafford Corbett, *Some Principles of Maritime Strategy*. Annapolis, Maryland: Naval Institute Press, 1988.

4 1982年には、200海里の排他的経済水域（EEZ）および12海里の領海限界、ならびに350海里の大陸棚に関する権利が、UNCLOSの下で確立された。United Nations Division for Ocean Affairs and the Law of the Sea, *The UN Convention on the Law of the Sea: A Historical Perspective*, May 16, 2024, at: <https://www.un.org> を参照のこと。

地政学および地経学は伝統的に、陸上に基づく展開に焦点を当ててきた。なぜなら、人間が居住するのは陸上であり、また国家が明確な主権を有するのもそこだからである。しかしながら、地球表面の70パーセントは海洋であり、世界の商取引の大部分は海上で行われている。海上輸送は、陸上輸送よりもはるかに安価であり、政治的介入の対象にもなりにくい。一方で、インターネット通信の95パーセント以上は海底を通っており、情報革命が進展するにつれて、海洋の機能的重要性の高まりに大きく寄与している⁵。

要するに、戦略的島嶼は通常、地理的および人口的規模の点では小規模である。しかしながら、それらは、世界システムの内部において、またそれらを取り囲む特定の海域との具体的関係において果たす重要な機能的役割から、計り知れない利益を享受している。それらの海域自体もまた、南シナ海から地中海に至るまで、より大きな国際システムの中で機能的役割を果たしており、そのことが、それらの内部に位置する特定の島嶼の役割をさらに一層拡大させるのである。

これから見るように、特定の島嶼の戦略的重要性は、当該島嶼が国際問題において果たす機能的役割に依存して、時間の経過とともに大きく変動しうる。たとえば、ドイツ北西海岸から約30マイル沖に位置するヘルゴラント島は、キール運河の開通直後であり、かつドイツ帝国による海軍増強の最中であつた20世紀初頭には、戦略的にきわめて重要であつたが、現在ではほとんど戦略的意義を有していない⁶。スンダ海峡の南西350キロメートル、インド洋の入口に位置するクリスマス島は、20年前には取るに足らない存在であつたが、今日では重要性を増しつつある⁷。したがって、島嶼の戦略的重要性を歴史的文脈の中で測定することは、地政学的に重要である。

概して言えば、特定の時点における特定の島嶼の戦略的重要性を形成する決定的要因は4つある。

- (1) 経済的要因 交易地または金融拠点として、あるいは海洋活動のための作戦拠点としての島嶼の重要性は、古代以来、一貫して中心的であった。
- (2) 地政戦略的要因 島嶼の位置が大国の政治的・軍事的志向といかに関係するかは、2000年以上前の海軍競争の黎明以来、戦略的重要性を規定する一貫した決定要因であった。
- (3) 技術的要因 これらの要素は時として島嶼の戦略的重要性を急激に変容させ、過去20年間においてますます重要性を増してきた。
- (4) 環境的要因 これらは、北極圏に見られるような地球温暖化の進展や、漁業その他の海洋資源への影響によって、将来的な島嶼の戦略的重要性を変化させる可能性を示している。

2 時代を通じた戦略的島嶼

島嶼は、物理的規模や人口規模に比して、他の陸地と比較すると、歴史を通じて一貫してきわめて戦略的である傾向を示してきた。結局のところ、周囲の海域に囲まれた位置は、それらの海域自体が地経学的意義を有する場合には一そして実際にそのような場合はしばしば存在するが一、島嶼の重要性を高める傾向がある。しかしながら、先に述べたように、特定の島嶼の戦略的重要性は、それらの島嶼が国際システムの中で果たす機能の変化とともに、時間の経過に応じてしばしば変動する。いくつかの事例は、国際問題における「戦略的島嶼」という概念の変化する作動的意味と、そのような島嶼が果たしうる重要な機能的役割とを、有益に例示している。

古代において、戦略的島嶼とはしばしば、危険ではあるが経済的に重要な海域を横断するための輸送を可能にする島嶼であつた。たとえば古代ギリシア人にとって、北エーゲ海に位置するタソス島は、経済的理由から戦略的と見なされていた。それは、当時の比較的未発達な船舶にとって、地中海と黒海との間を結ぶ重要な中継地であつたからである⁸。同様に、フェニキア人の航海者にとって、地中海中央部のマルタおよびパン

5 情報時代における海洋の役割の高まりについては、Kent E. Calder, *Eurasian Maritime Geopolitics*, pp. 139–141 も参照のこと。

6 Alex Ritsema, *Heligoland, Past and Present*. Morrisville, North Carolina: Lulu Press, 2007.

7 たとえば、Google は、インド洋の通過交通を監視するため、オーストラリア国防省との協力の下、クリスマス島に大規模な AI データセンターを建設する計画である。Kirsty Needham, “Google to build new AI data center on tiny Australian Indian Ocean Outpost”, Reuters, November 7, 2025, at: <https://www.reuters.com> を参照のこと。

8 “The Strategic Importance of Thasos in Ancient Greek Maritime History”, at: <https://www.greekhistoryhub.com>.

テッレリアは、優れた港湾を有し、当時の技術によってはそのような中継地を経由することで横断可能であった広大な海域を渡るための中継地としての役割ゆえに、戦略的と見なされていた⁹。シチリアのような他の島嶼は、中継地としての役割に加え、その後背地の肥沃さゆえにも価値を有しており、補給の拠点として魅力的であった¹⁰。2000年後、ヴァイキングもまた、同様の理由からフェロー諸島およびアイスランドを戦略的と見なしていた¹¹。

都市国家の台頭とそれらの間の競争の進展に伴い、島嶼を戦略的たらしめる要因として地政学的要因が重要となった。たとえば、アテネとスパルタの間で戦われたペロポネソス戦争は、実質的には一連の海戦であったが、その過程でデロスおよびコルキュラ（後のコルフ島）は、アテネを支援するデロス同盟の重要な島嶼構成員として、大きな存在感を示した。19世紀に至ってもなお、シチリアは、その中心的な位置、安全な穀物供給源としての重要性、そして時としてその地政学的位置取りゆえに、地中海諸勢力の間で争奪の対象であり続けた。マヨルカを含むバレアレス諸島およびサルデーニャもまた、その位置、天然の良港、ならびに補給源としての役割ゆえに、ローマおよびカルタゴによってしばしば戦略的と見なされていた¹²。

15世紀および16世紀にポルトガルとスペインによって開始された世界的探検の時代には、複数の経済的および地政戦略的目的を有する新たな戦略的島嶼が多数出現した。リスボンから南方へ連なるカーボベルデ、アゾレス諸島、サントメといった島嶼は、インドを目指して航海したポルトガルの船乗りたちの地平を拡大するうえで決定的に重要であった。それらは中継地として、また敵対的な住民がほとんど存在しない安全な補給地点として機能したのである¹³。コロンブスとその後継者たちが大

西洋を横断し、スペイン本土植民地の富を発見した後は、イスパニョーラのようなカリブ海の島嶼は、補給のためだけでなく、本国へ輸送中の富を保全するためにも戦略的となった¹⁴。これに対し、オランダ人、そしてその後のイギリス人の競争相手たち、その多くは海賊であったが、キュラソー、サン・マールテン、アンティグア、ジャマイカといった島嶼は、スペインに挑戦するための拠点として、そして重商主義的本国へ富を送り返すための拠点として戦略的となった¹⁵。

アジアの歴史にもまた、戦略的島嶼が存在してきた。その中でも最も重要なものの一部は、島嶼上に孤立して位置しながらも、商業的潜在力を有する諸国家に近接する中継貿易拠点であった。初期の例としては、もちろん、江戸時代の孤立した日本にとって数少ない世界への窓口の1つであった長崎港内のオランダ商館出島が挙げられる。後年には、シンガポールおよび香港もまた、いずれも本質的に戦略的島嶼であり、それぞれ東南アジアおよび中国南部においてこの種の中継貿易機能を担った。

産業革命の先導者であり、また卓越した海軍大国でもあったイギリスは、経済的観点および地政学的観点の双方から、早期より戦略的島嶼に対して圧倒的な関心を有していた。17世紀には、イギリスはスペインからジャマイカを奪取した。そして1814年、ナポレオン戦争の勝者として、パリ条約を通じて獲得した最も重要な領土のいくつかは戦略的島嶼であった。その中には、マルタ、モーリシャス、セーシェル、セイロン（現在のスリランカ）、そしてヘルゴラントが含まれていた¹⁶。

海上輸送が帆船の時代から新たな推進燃料の時代へと移行し、また国際貿易が爆発的に拡大するにつれて、新たな種類の戦略的島嶼が出現した。地中海やバルト海から太平洋およびカリブ海に至るまで、石炭の供給は、商業の拡大と大国間の海軍競争の激化に伴い、19世紀後半を通じてますます重要となった。国際電信の出現は、ギルバート諸島のような小規模な太平洋の島嶼さえも、世界的な海底ケーブル網の陸揚げ拠点

9 Josephine Quinn, *In Search of the Phoenicians*. Princeton: Princeton University Press, 2019.

10 Mark Cartwright, "The Phoenicians—Master Mariners", *World History Encyclopedia*, April 28, 2016, at: <https://www.worldhistory.org>.

11 Jonathan Williamson, "The Viking History of the Faroe Islands: An Introduction", *Viking Herald*, February 28, 2024, at: <https://thevikingherald.com>.

12 "Why the Roman Military Conquered the Balearic Islands", *The Collector*, June 4, 2021, at: <https://www.thecollector.com>.

13 "The Role of the Atlantic Islands in Portugal's Maritime Expansion", *Portugal Expert*, at: <https://www.portugalexpert.de>.

14 Carl O. Sauer, *The Early Spanish Main*. Berkeley: University of California Press, 1969.

15 Eric Williams, *From Columbus to Castro: The History of the Caribbean, 1492-1969*. New York: Penguin Random House, 1984.

16 Paul M. Kennedy, *The Rise and Fall of British Naval Mastery*. London: Allen Lane, 1976.